

スマイル通信

第16号 平成22年1月22日発行

発行元:特定非営利活動法人スマイルネットワークさかい

理事長:田崎 健治

住所:〒919-0541 福井県坂井市坂井町東 24-22

Tel:0776-72-2282 Email:koryuctr@mx3.fctv.ne.jp

URL <http://www3.fctv.ne.jp/~koryuctr/>

～たゆまぬ努力 将来の子供たちの 居場所づくりを発展させる一年にしたい

新年明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族と一緒に良き新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

当センターも新年を迎え、より一層の飛躍を誓い、より一段の皆様との協調、より良いネットワークの輪・和を広げてまいりたいと思っております。おかげさまで、昨年は皆様の絶大なご協力・ご支援を得て、頗る順調に活動を続けてまいり、周囲の方々から高い評価と期待を寄せて頂けるようになりました。皆様と一緒に素直に喜びを分かち合いたいと存じます。職員もこれに意を強くし、今後益々の頑張りを胸に期しているところです。

さて、当センターも3年を経過し、ようやく基盤も固まってま

いりましたので、今年はいちよつとだけ背伸びをしようかなと考えています。といいますのは、昨年からは実施して土との触れ合い、農作業の体験を少しずつやってきましたが、これを、将来の子供たちの居場所づくり、働き場所作りにつなげていく活動をしていきたいと考えています。ビニールハウス、農機具の確保と、梨園の活動と少しずつ手がけてまいりましたが、これをもう少し発展させていく年にしたいと考えております。

いずれに致しましても、このような活動はたゆまなく、少しずつが基本だと思っておりますので、皆様とご相談させていただきながら、子供たちの将来にとってより良い方向を探ってまいりたいと思っておりますので、皆様には今後とも絶大なご支援、ご協力をお願い申し上げます。

理事長 田崎 健治

そよかぜサロンがスタートしました

天候を気にすることなく、親子で気軽に気楽に集える場を提供し、「そよかぜのように 人にやさしく 人にそっと寄り添い 人を癒す」そんな思いでサロンをつくり、少しでも子育てを応援する活動ができればと考えています。「そよかぜサロン」の第1回目には未就学児18名と保護者、ボランティアの協力をいただき、60名の方が参加して下さいました。

●●●保護者の方の感想より●●●

黒坂事務局長のそんな思いの込められた「そよかぜサロン」 去る12月20日、第1回目の未就学児親子を対象にしたクリスマス会が開催され、我が親子もウキウキわくわくしながら当日参加させていただきました。アイビー学園の学生さん達の演劇(おおかみと7匹の子ヤギ)。若者たちが子供たちを喜ばせようと芝居し、歌い、人前で素直に自分たちを表現する一生懸命さになんだか母はうれしいものがありました。劇に出てくる1人1人をチェックし「狼の頭おもしろいの！」とひと言ひと言を発する隣の娘のうれしそうなお顔にほっとしました。家ではなかなか持てない親子のゆったりした時間がありました。サンタとトナカイさんからのプレゼントに喜び、昼食会ではオードブルのほか、手作りの蒸しケーキや大学芋をおいしくほおばりました。

このサロンの名前をはじめて聞いたとき、何か心があつたかくなるものを感じたのは、きっとこの母だけではなかったはず。これから回を重ねるごとに、地域の親子が足を運びたくなる。ちよつと時間が空いたとき、もしもふと心がさびしくなることがあつたとき、子供と寄り添ってみようかな。そんな思いにさせるさらさらそよそよ「そよかぜサロン」になりますように・・・

「今度もあるんか？」帰り際に聞いた子供の言葉。左に同じ。2回目も参加します^^

色々お世話いただきましたスマイルネットワークさかいの先生方、当日お手伝いいただきましたボランティアの皆さん、ありがとうございました。(加藤 ひろ子)

ハンドベルの音ってきれいだね

12月3日(木) ボランティアグループ「明新ハンドベルクワイア」の方がハンドベルの演奏に来て下さいました。

実際にハンドベルを持たせていただいて、クリスマスソングや崖の上のポニョを歌い、キラキラ星を合奏し大盛り上がりでした。体を揺すったり、踊ったり、みんなとっても楽しんでいました。



センターにサンタがやってきた!



12月25日 保護者会会長の有馬さんがサンタとなってセンターを訪れました。子ども達は歓声をあげて大喜び。お昼はみんなでカレーライスを食べました。甘口カレーは大好評だったようです。

●第4回保護者会研修会報告●

10月24日(土)講師の内田彰夫さんから「あたらしい行動を教えるためのポイント」、榊井宏之さんからは「施設での障がい者に対する評価項目」について教えていただきました。参加された坪田憲泰さん(保護者)の感想を紹介します。

ぼると療育室 内田さんのお話をお聞きして

「あたらしい活動を教えるために その準備とポイント」というテーマで、とてもわかりやすくお話いただき、私自身、勉強になったこと・勇気付けられたこと・改めて強く再認識させられたこと・今後取り組んでみようと思ったことなどがたくさんありました。特に、ゴールから少しずつ手を引いていく逆行連鎖の話や、失敗から学ぶのではないエラーレスの話は、とても印象深いものでした。また、障害を持った子に関わっていく場合、こういった予備知識を持って接するのと持たずに接するのでは、かなりの違いが表れるのではないかとも感じました。今後も、内田さんのお話をお聞きできる機会がありましたら、積極的に参加したいと思っています。

Cネット丹南事業所 榊井さんのお話をお聞きして

障害者の就労に関して、最前線で活躍されている榊井さんの話ということで、緊張感を持って話をお聞きしました。私を含めて障害児の親は、今が一番大変で、将来のこと(就労など)は全く考えていない人が多いようですが、そう遠くない将来の話であること・現実はとても厳しい状況であること・障害児が障害者になって就労するようになって親の協力は不可欠であること・今のうちにやっておかなければならないことの話など、榊井さんの優しい口調からも十分伝わってきました。

特に、施設での障害者に対する評価の8つの項目の話などは、具体的で、とても勉強になりました。今後も、榊井さんからいろいろお話を聞いて、将来に対する準備を少しずつしていきたいと思いました。

●坂井市心身連報告●

青空教室 2009年10月4日(日)

さわやかな秋晴れの日曜日、私は初めて親子で青空教室に参加させていただきました。子どもからお年を召した方までの幅広い参加者たちが、どのような展開になるのだろうと思っていたところ、時間が経つにつれわきあいあいとゲームをしたり、マジックショーでは歓声をあげたりと楽しんでいる姿がありました。息子も張り切ってゲーム等参加していました。家で姿とはまた違った一面を見ることができ、参加して良かったなあと思いました。ある参加者の一人が、とてもきさくに話しかけてきてくれました。ひとことひとこと交わすたび、優しい気持ちが伝わってきて、心が温かくなりました。これからの世の中、障害をもつ子どもや大人がずっとこの笑顔を絶やさず、毎日暮らしていける社会であってほしいと、心から思いました。(木屋)

日帰り旅行 2009年11月8日(日)

当方より4家族、11名が参加しました。天候に恵まれて、ブルーメの丘でアイスクリーム作りを体験し、バーベキューを楽しみ一緒に出かけた他町の人たちと親睦を深めました。

●神戸・大阪1泊視察研修報告●

1日目 12月16日(水)

①社会福祉法人 えんぴつの家 神戸市長田区

- ・相談事業 ・小規模通所授産施設(パン工場)
- ・生活介護事業所 ・ヘルパー派遣事業

ここでは15年前の阪神・淡路大震災後のお話を聞きました。

②共同作業所 くらべーかりー 神戸

③全国きょうだい会 神戸

若いお父さんお母さんへ障がいのある人の“きょうだい”の本音、大人になった“きょうだい”からのメッセージと本音のお話は大変参考になりました。

2日目 12月17日(木)

④豊能障害者労働センター 箕面市

障がいのある人もない人も「共に働く」健常者が、障がい者の給料アップをしてあげる。

⑤NPO 法人ゆめ風基金 大阪市

被災障害者支援「障害者の視点からの防災・減災」障害者にやさしい街は高齢者にも暮らしやすい街である。(黒坂)

※③の「全国きょうだい会」の詳しい内容については、2月7日の第5回保護者研修会の中で詳しくお話しさせていただきます。

今後の予定

- 2月7日(日) 10時~12時 第5回保護者会研修会
12時~13時半 懇親会
- 2月14日(日) 10時半~12時
第2回そよかぜサロン、ミュージックケア
- 2月21日(日) 11時~13時
坂井町障がい児(者)福祉協議会
臨時総会と親睦会
- 3月26日(金) 19時~21時 保護者会総会

